

項目	確認事項	届出内容	
基本情報	大学等名1(代表大学等)	明海大学	
	大学等名1(代表大学等)※カナ	メイカイダイガク	
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F111310102138	
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	埼玉県	
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学	
	科目名	インターンシップA・B・C・D	
	学部・研究科等名	外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部	
	担当教職員名・役職	内苑孝美・キャリアサポートセンター長	
	受講者数実績年度	令和3年度	
	受講者数※インターンシップ参加者数	58	
	受入企業等数	11	
	受入企業等名	浦安市(浦安市役所)、シェルトン・グランデ・トキョーベイ・ホテル、ラフォーレリゾート修善寺、ホテルミオ東京ベイ、(株)ジェイ・プロト、ダイハツ千葉販売(株)、JTP(株)、(株)トップバンク、千葉トヨ自動車(株)、埼玉トヨ自動車(株)、(株)JTBグローバルマーケティング&トラベル	
インターンシップの分類		2.有給インターンシップ	
		5.他県をまたぐ広域インターンシップ	
		6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ	
		8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ	
		9.中小企業でのインターンシップ	
		10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		—	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい	
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)	
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	—	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	学生が自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことにより、学習意欲を喚起し、さらに、高い就業意識の涵養や自分の適性にあった職業について考える機会を提供する。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい	
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している	
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	—	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次		大学 学部1年
			大学 学部2年
			大学 学部3年
		大学 学部4年	
2-4.当該インターンシップで付与される単位数		大学 2単位	
2-5.上記回答内容に関する詳細		全年次を対象に、原則として学生の休業期間中(夏季及び春季)で、実日数が最低5日間以上の研修機関での研修として実施している。	

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	—
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	—
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	—	
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	事前研修会を実施している。内容として、教職員がマナー講座（研修先（職場）で求められるビジネス・マナーの基本）を実施している。併せて、インターンシップ担当職員が研修学生に対し参加するに当たっての心構えをレクチャーする。また、事前学習のための「研修機関・業界研究シート」を配布し、研修機関の基礎データや業界について参加前にまとめさせている。	
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	報告会を実施している。その報告会では、主に「今回のインターンシップで得たこととそれを今後の学生生活でどのように活かしていくか」について、1人約1～2分程度で各学部教員に向け発表させている。その発表を受け、各教員から学生に報告に関する詳細な質問を行い、回答させている。学生はその質疑応答を随時メモを取り、今後の学生生活等に活かしていく。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ担当の教職員がインターンシップ期間中に適宜研修機関を訪問し、学生及び企業と面談を行うことで、インターンシップ中の学生の成果や状況について双方から確認を行い、課題等を共有し、より効果的な研修となるよう調整等を行っている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	—
	4-3.上記回答内容に関する詳細	研修終了後、参加学生に対しレポート（参加して学んだことや全体の感想で400文字）及び満足度アンケート（5段階評価及び理由）を課している。事前に企業研究などのレポートを課している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	—
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	—
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	—
5-2.「4.その他」の実施期間の内容	原則として、学生の休業期間中	

項目	確認事項	届出内容
5-3.	上記回答内容に関する詳細	学生の夏季及び春季休暇中の中で、計5日間以上
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
		5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
		6.企業と協働して、PDCAを実施している
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	—	
6-3.上記回答内容に関する詳細	学生の受入れに当たり、本学のインターンシップの目的や期待される効果などをまとめた依頼文書及び学生配布用のインターンシップパンフレットを各研修機関（企業等）へ送付し、それを踏まえて本学と研修機関とで調整しながらプログラムを設計している。また、各研修機関へ学生の評価表を送付し、研修機関は対人態度や業務態度等各項目を数値化させ、学生に対する全体的な評価・助言等を行っている。	
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://syllabus.meikai.sugawara-p.co.jp/web/show.php	
問い合わせ先	大学等名	明海大学浦安キャンパス
	担当部署名	キャリアサポートセンター
	担当者役職名	係長
	担当者氏名	三橋友一
	電話番号	047-355-5118
	メールアドレス	ymits173@meikai.ac.jp